

韓国テレビ局

長井小を取材

小規模校の魅力追う



少数での授業の様子を撮影する取材クルー
13日、香美町香住区の町立長井小

韓国文化放送大田^{テジヨ}総局のテレビ取材クルーが13日、香美町香住区の町立長井小を訪れ、全校児童30人の小規模校教育の様子を取材した。学校の在り方や教育実践を取り上げ、魅力や活性化の可能性を探る題材とする。

韓国では教育財政費の削減と効率性を高めるため、小規模校の統廃合が進んでいる。近年は50人以下の学校だけでなく、日本でも教育委員会の統廃合法案も持ち上がり、住民

の反対は強いという。取材には4人が来町。ドキュメンタリー番組「我が故郷の宝、学校を守れ!」という企画で、小規模校が合同で多人数授業を行う「学校間スパー連携チャレンジプラン」などに関心を持ち、取材先に選んだという。

長井小では算数や健康学習などの授業の様子を取材。インタビューでは6年生の小谷美佐希さんが「全校児童で遊んだり、勉強ができることに魅力を感じる」と語った。

月放送予定。韓国全域での放映が見込まれている。
(戸田大貴)